

# 第39回

# うつのみやこども賞だより

## 令和4年度 9回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

### 『黒紙の魔術師と白銀の龍』

鳥美山 貴子／著 （講談社）



令和5年2月5日

### ～読んだ本の感想より～

- 啓函が誰に何を言われようが好きなことに没頭するのがかっこいい。
- 龍のうろこが 1000 個必要なとき、クラスのみんと協力してうろこを折るところは感動し、啓函と皇輝が仲直りできて心が暖まりました。
- 「好きなことにまっすぐで、何が悪いんだよ!」と言ったとき、とても共感させられた。
- 白圭が出てくる昔と、悠馬達のいる現代の話がつながっていて、うつしみの生活や黒い鳥の正体がじょじょに分かってくるのがおもしろかったです。
- 龍や黒い鳥の戦いがよかった。
- うつしみは最後にいなくなりましたが、願いがかなえられて良かったと思った。

### 『はれ晴れ池をさがして』宇佐美 牧子／作 （ポプラ社）

- 七海がリクのお世話をたくさんしていて大変だなと思ったけど、最後にリクと仲直りしたり、ママと仲良くなってよかった。
- 人のためには良いことだけど、それで自分のことができないのは違うと気付かされた。
- 母親との関係や弟と話せないなどのかべをのりこえようと努力していてすごいと思った。
- 友達のためにやったのにうらぎられた気持ちになおるとかなしくなる七美の生活と私のけいけんがかさなって感動しました。
- 最後に池が見つかってよかった。願いがかなってとてもよかった。

### 『太陽と月』はらだ みずき／著 （小学館）

- 月人が太陽に「デカいだけ」と言われ、その後に同じ選考試験でばったり会ってしまいどうなるのか心配だったが、仲直りできてよかったと思いました。
- いろいろな経験をして、育っていく月人が格好良く、尊敬しました。
- 月人や太陽が自分の夢のことで苦悩しているところが共感できた。
- 「不合格」になってもあきらめない月人がすごいと思った。
- 月人と太陽の二人の視点から物語がすすんでいくのがおもしろかった。

### 『東京タワーに住む少年』山口 理／作 （国土社）

- 東京タワーににじをかけるという夢に、だんだんみんなが協力していくところがよかった。
- 東京タワーにひみつのきちがあることにおどろいた。
- おじいちゃんに“ニセモノ”でも夢をかなえてあげられてよかったなと思った。
- 改めて人と人が協力することの大切さ、物事を達成できることへの喜びを知ることができる本だなと思った。